

## 編集後記

ここに『心理相談室紀要 第18号』をお届けできましたことを大変嬉しく思っています。

今年度も、院生や研修生達の事例論文とコメンテーターの先生方からの貴重なコメント論文、その他の活動報告等と合わせまして、学内外の先生方やスタッフをはじめ多くの方々のお支えのもと、心理相談室のたゆまぬ歩みを報告することができました。

また今年度は後期から米国 UCLA より J. S. Shelby 先生に客員教授として来ていただき、米国やその他の国々における先生の心理臨床の実践について学ぶ機会をもつことができました。心理臨床を取り巻く社会状況は日米で異なりますが、心理臨床の根幹に関わる部分は共通する事柄が多く、改めて日本での心理臨床活動について考えさせられる機会となりました。特に、子どもを対象とした「遊び」を取り入れた心理療法は、言語の違いを超えて普遍性のある支援方法であると考えられますが、どのように遊びを取り入れ体験を言語化するかにおいては、文化の影響も大きいように思います。また、いかに心理臨床活動を社会に広く認知・普及させていくか、先生の災害支援への取り組み等を通して考えさせられました。

最後になりましたが、本相談室の活動を日頃よりお支えいただいておりますご関係の皆様、スーパーバイザーの先生方、実習指導をいただいている先生方に深く感謝申し上げますとともに、引き続きご指導、ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願い致します。

(須藤 春佳)

### 編集委員

石谷 真一・吾妻 壮・小林 哲郎・國吉 知子・須藤 春佳・鶴田 英也  
児玉 佳子・桑山久仁子・伊藤 綺美・上村恵梨華・一夔 綾香・下山 佳奈・中山貴久子

## 心理相談研究 第18号

2017年3月31日 発行

発行 神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室

〒662-8505 西宮市岡田山4-1

TEL 0798-51-8554

FAX 0798-51-8555

印刷 尼崎印刷株式会社

〒661-0975 尼崎市下坂部3丁目9-20

TEL 06-6494-1122

FAX 06-6495-2360